

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

広島市立牛田新町小学校

【GIGA×指導の工夫・改善】児童同士の思考をつなげて、学びを深めていくことができた

<考察>

①整理分析の仕方を共有

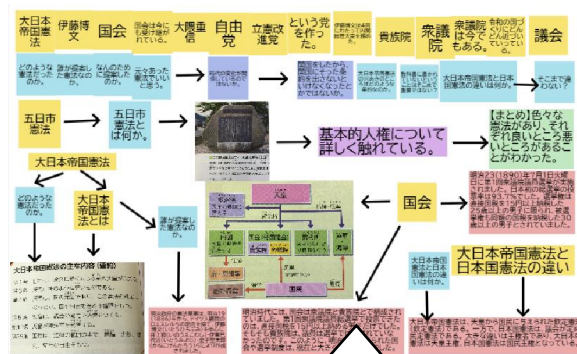
児童が情報を収集することはできるが、整理分析が難しい児童が多い。初期段階で見られるこのような場面では、いったん授業をとめて、どのように整理するのがよいのかということを通理理解していく必要があった。まとめ方としては、円で情報を囲むグルーピング、情報同士を線や矢印で結ぶ関連付けなどが見られた。学習の内容に応じて、適宜指導していくが、今まさに児童が作成した成果物があるので、そちらを参照しながら共通することができた。

②相違点を指摘して交流させる

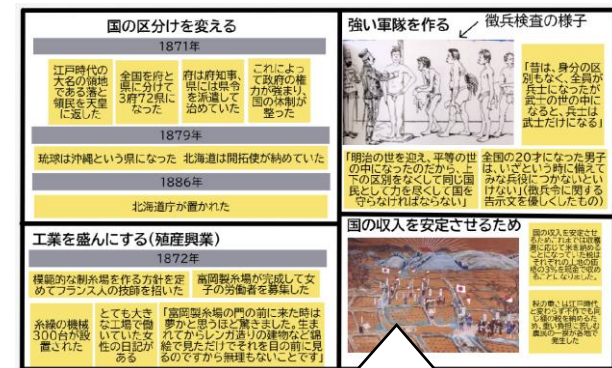
児童が情報収集している段階で、同じようなことを調べている児童、逆に違う観点から調べている児童がいる。同じ内容になることも、違う内容になることもどちらも価値のあることと子供と共通理解した上で、同じ内容だとさらに深まりが生まれるし、違う内容だと広がりが生まれることを伝えることができた。



タブレット上で共有するだけではなく、実際に友達のところに行ってコミュニケーションをとることで、文字情報だけでは伝わらない部分を伝えた。



情報と情報を関連付けてまとめた例



情報をグルーピングしてまとめた例